

申
4
号

2021年度夏季手当等に関する申し入れ

6月9日 第1回団体交渉行う!! その1

満
額
回
答

JR東労組の要求の趣旨

- ・ 1年以上も新型コロナウイルスに感染しない・感染させない取り組みで「安全で安心してご利用いただける駅」をめざし、お客さまと社員の安全を守るため日々、感染予防対策を行ってきた。
- ・ 組合員は、「大変身近なところで感染者が出ていることもあり、次は、もしかしたら自分が感染してしまうのではないか」という不安を抱きながらも業務を行ってきた。
- ・ 2020年度期末決算は増収増益。営業収益は対前年110.1%を達成。営業費用は対前年107.0%。当期純利益は昨年を大幅に上回り、5億3200万円に対前年248.3%を達成。
- ・ 黒字決算は、更なるサービス品質の向上をめざし今まで以上に努力し続けてきた成果だ。
- ・ 黒字経営の企業として、さらなる組合員のモチベーションを維持・向上するためにも、要求通り、満額回答を行うべきだ。支払い能力と体力は十分にある。
- ・ 非常に厳しいJR東日本の連結決算の中、独立した一企業として好決算ではあるが、組合員一人ひとりがこれまで以上に増収とコストダウンに取り組んでいる。
- ・ 組合員の生活を維持・向上するためにも、これまでの苦勞と頑張りに見合った回答を会社は行うべきだ。
- ・ エンゲージメントの高い会社を実現し、社員が会社に定着し、モチベーションの向上を行うことが、企業の業績や生産性の向上につながる。



満額回答を強く要請する!

会社の夏季手当等交渉に関する基本的な考え方

- ・ 今年度から「JESSビジョン2023 MOVE」がスタートした。社員の地道な努力によって、成長基盤の確立につなげることが出来た。社員の努力に御礼を申し上げる。
- ・ 新型コロナウイルス感染症に対し、休日や昼夜を問わず感染対策を行い感謝している。職場でのクラスターを発生させずにここまで推移している。駅業務という公共性の高い業務だが、使命感、責任感を持って自らの職務を全うしている事に敬意を表し深く感謝する。
- ・ 20年度期末決算は増収増益であった。収入が伸び、費用がそれほど伸びなかった結果。
- ・ JR東日本連結決算は大変厳しい。JR東日本グループとしても、単体としても苦しい環境におかれている。全てのグループ会社にあらゆる面でのコストダウンが求められている。
- ・ 今年度予想は、受託契約額の見直しによって減収減益である。純利益1500万円予想はギリギリの数字である。相当なコストダウンをすることが前提である。
- ・ 社員のみなさんが当社で働いて良かったと感じることができ、心豊かに暮らせるようにするために、業務品質を向上させ、地域のみなさんの信頼をより一層高めることが必要だ。
- ・ 夏季手当の支給にあたっては、これまで以上に極めて慎重な判断が必要である。

支払い能力は十分ある! コロナ禍における努力と苦勞に報いるべきだ!